



幼保小中一貫教育プロジェクト

東部保育園では、今

東部保育園では、さまざまな行事に家族や地域の方を招いて、子どもたちが日ごろの遊びの中で成長したことや経験したことなどを見てもらう機会を設けています。「野菜栽培」「お米づくり」「老人施設訪問」を通して、地域の方からいろいろなことを教えてもらっています。また、「身近なまわりの人、物、出来事に感謝する」ことに気付ける機会となることを願い、「花まつり」「誕生日会」「報恩講」などを行っています。

<花まつり>

お釈迦様の御堂に花を飾り、大きな白い像を子どもたちが引き、甘茶をかけ「天上天下唯我独尊」＝「世界に一つだけの大切な命」というお話を聞きます。



<七夕まつり>

子どもたちは、招待された保護者や卒園した小学1年生と一緒にゲームやくじ引き、水風船釣りなどのお店のほか、踊りやブラックパネルシアターを楽しみます。フィナーレの花火を見た後、提灯の灯りを頼りに暗い夜道を帰る風景は、いつもと違って子どもたちの心に残ります。



中部保育園では、今

中部保育園は、北は丸山公園、東は緑に囲まれたお寺の境内地という恵まれた環境にあります。「仏教情操教育」によって「豊かな心を育てる」ことを目標にしています。

<裸足保育>

土踏まずの形成と脳への刺激のため「裸足保育」を行っています。中部保育園は、芝生の園庭になっており、子どもたちは芝の気持ち良さを感じながら、戸外で元気いっぱいに遊んでいます。



<お泊まり保育>

年長児は、9月に本堂でお泊まり保育をします。1日目は、みんなで夕食のカレーライスを作ったり、お風呂に入ったりします。ゲームや花火、人形劇などのお楽しみもあります。2日目は、早起きをして散歩や体操をします。友達や保育者と充実した2日間を過ごします。

